



山本夫妻（観光農園前にて）

経営概要

山本 真佐人・山本 瑠衣

- ◆代表者・所在地
山本 真佐人・瑠衣 大阪府富田林市
- ◆経営規模
野菜（なす等）0.4ha、ブルーベリー0.4ha、カフェ
- ◆従業員数
常時雇用1名、パート・アルバイト2名
- ◆事業内容
野菜の市場出荷、観光農園（ブルーベリー）の複合経営に取り組む。

1 現状と相談までの経緯

これまでなす等を中心に経営してきたが、真佐人氏がアメリカでの農業研修時にブルーベリー栽培に出会い、新規部門「まーるいかんぱにー」としてブルーベリーの栽培を開始した。平成29年の相談時点で観光部門の経営全体に占める割合は売上ベースで2割程度であり、山本夫妻はさらに**観光部門の売上を増やし、経営の主力にまで成長させたい**との意向から、雇用の拡大や他部門の縮小といった経営の最適化に向けた抜本的な転換が求められていた。

以上のことから、観光部門（収穫体験及び園内飲食）の経営改善を目的に、大阪府農業経営・就農支援センターに相談した。

2 相談内容

観光部門を農園経営の一つの柱とするためには、観光部門の経営を安定させ、売上を向上させる必要がある。そのため、観光部門だけでなく農園全体の経営を分析して農園の問題や課題を見直し、**全体の経営状況の把握**の方法についてアドバイスがほしい。

また、**観光部門の運営改善**を図るため現状の分析を行うことで課題を把握するとともに観光部門の拡大に向けたシミュレーションについて教えてほしい。

3 支援内容

■支援チームによる支援計画の策定

今後観光部門を拡大し主力としていくためには、他部門も含めた経営全体の検討が必要である。そのため、**ヒアリングによる課題整理**を行った上で、支援チームを編成し、専門家を派遣して雇用に関する情報提供や観光部門の経営安定に向けた指導・助言などを行い、支援計画等を策定した。

■普及指導員による課題整理と専門家派遣の実施

支援計画に基づき、普及指導員が中心になり、山本夫妻との意見交換、疑問点・課題の整理を行い、その後、専門家（経営コンサルタント）の派遣を実施するとともに、今回の分析や計画を元に経営安定に向けた支援を行った。

・農園全体の経営診断（経営コンサルタント）

農園全体の経営分析を行い、観光部門を拡大するにあたっての問題点、改善方法等について検討した。

・観光部門の運営改善（経営コンサルタント）

集客、顧客満足度及び売上の向上に向け、具体的に項目ごとに細かく目標・計画を立て、実施結果を元に来シーズンの目標・計画を立てるという**PDCAサイクルを3シーズン繰り返してきた**。

令和6年度は観光部門に特化して行った売上分析の結果に基づき、**観光部門をさらに拡大し農園の主力部門とするためのシミュレーション**を行うとともに、懸念すべきリスクについても助言したほか、付加価値を高め顧客満足度の向上を図るべく、観光部門におけるサービスの見直しと検討を行った。

支援チーム構成員：

普及指導員、経営コンサルタント（農産物流通マネジャー）



自家製ブルーベリースソースとヨーグルトソースのかき氷



顧客満足度及び付加価値向上のため改善した休憩スペース

■ 支援を受けて・・・

観光部門の売上は**部門設立時から3倍以上**となり、農園の一つの柱となった。経営の見直しのほか新規メニューの開発やサービスの向上、SNS等を用いた集客等により新規顧客・リピーターは増加しており、売上は着実に上昇し経営安定に寄与している。

■ 今後の展開

さらに観光部門の割合を増やし、主力部門にまで成長させたいとの意向がある。そのためには、観光部門の魅力向上や他部門の縮小といった**経営・運営全体の抜本的な転換**が必要であるため、今後も定期的にコンサルティングの機会を設け、支援を行っていく。



観光農園併設のカフェメニューと加工品

喜びの声

毎回シーズン終わりに進歩した点、反省点などを分析し、来シーズンへの目標を立てて次のシーズンに活かしています。

第3者の立場で、私たちでは思いつかない提案をいただいたり、新しい挑戦にも的確なアドバイスで背中を押してもらなど、次に繋がるとても重要な時間になっています。

専属スタッフ所感

山本夫妻は、今までの経営や栽培状況を踏まえ、将来の経営安定のために観光部門の拡大をめざすという目標が明確でした。

今後、**大阪・関西万博等で国内外からの来客**も期待される中、新規顧客の確保のためにはさらなる**付加価値向上や他の観光農園との差別化**も検討していく必要があります。

支援を通じて、自身の農園の経営を見直すとともに、理念やビジョンをしっかりと考え、めざす姿を明確にできたことで今後の活躍が期待できます。

<支援機関> 大阪府農業経営・就農支援センター



一般社団法人大阪府みどり公社外観

組織概要

■ 相談窓口

【経営・就農相談】

住 所：大阪府大阪市中央区南本町2丁目1番8号
創建本町ビル5階

一般社団法人 大阪府みどり公社

電話番号：06-6266-8916

受付時間：月曜日～金曜日（年末年始・祝日を除く）
10:00～12:15 13:00～17:00

【就農相談】

住 所：大阪府大阪市住之江区南港北1-14-16
大阪府咲洲庁舎22階

電話番号：06-6210-9596

受付時間：月曜日～金曜日（年末年始・祝日を除く）
10:00～12:15 13:00～17:00

府内の経営改善意欲の高い農業経営者等に対して経営診断、支援チームの編成と派遣を行うことにより、農業経営者等の経営発展を進めることで、大阪農業の成長産業化を目指しています。